

東京2025世界陸上 財政計画について

一般財団法人東京2025世界陸上財団

東京2025世界陸上 財政計画（支出）について

- 世界陸上は、200を超える国、地域から2,000名のトップアスリートが集まる、**単一競技の国際大会としては世界最高峰の大会の一つ**である。2025年9月の東京開催は、トップアスリートの熱戦を間近で見ることができ、次代を担う子どもたちに夢と希望を与え、また、東京及び日本の国際的プレゼンスを高める好機である。
- 世界陸上財団は、**多くの人々に夢や希望を届ける、今後の国際スポーツ大会のモデルを示す**という2つのミッションを掲げ、大会開催ビジョン、開催基本計画を策定した。
- 大会開催を契機に、限界に挑戦するトップアスリートの姿を通じて、**スポーツの裾野の拡大や健康増進の意識向上**を図るとともに、**子どもたちの競技観戦や競技体験**を通じて、スポーツを始めるきっかけに繋げていく。心のこもったおもてなしや伝統と革新が織りなす**東京や日本の魅力発信**により、東京及び日本のプレゼンス向上を図る。フェアネスを体現した組織運営やコンパクトで最適化された大会運営を通じて、今後も継続的に開催可能な**国際スポーツ大会のモデル**を示していく。
- 今般こうした大会開催ビジョン、開催基本計画の考え方を具体化するために**必要な経費を計画額として**取りまとめた。今後これを着実に実施し、大会を成功させるとともに、World Athletics（WA）、日本陸連、東京都等関係者とより一層密に連携し、都民、国民の理解、協力を得ながら、大会が**東京・日本の発展につながる契機となるよう、大会開催に向けた準備を着実に進め、未来へ紡ぐレガシーを創出していく。**

サービスレベルの最適化

- 計画額の算定に当たっては、大会運営に必要な事項について、**仕様水準（サービスレベル）を最適化することが重要**である。
- 財団は、本年8月の**ブダペスト大会**において、尾縣会長が小池都知事とともに記者会見を行い、**東京大会の成功とサービスレベルの最適化に向けて、WAと協議していくことを公表**
- WAとの実務的協議を重ね、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整えつつ、サービスレベルの適正化、効率化を図り、計画額を取りまとめ



【仮設等】

- ・ 大会開催に当たって必要となる放送施設や電源設備等について、可能な限り既存施設の活用で対応

【輸送等】

- ・ 環境負荷の低減や道路交通への影響を最小限とするため、関係者輸送における乗用車の利用を極力抑え、シャトルバス輸送や公共交通機関の活用で対応

【オペレーション】

- ・ 大会関係者が滞在するホテル等について、エリアを集約し、効率性・利便性を向上させるとともに、宿泊日数等を精査
- ・ CO₂削減やコスト抑制の観点から、物資調達に当たって日本国内調達を優先する対応

【管理・広報】

- ・ ガバナンス確保に向けた対応を含め、適切な大会運営に必要な事務局体制を整備しつつ、情報発信を充実

計画額

(支出)

項目	金額
仮設等	30億円
輸送等	15億円
オペレーション	55億円
管理・広報等	45億円
予備費	5億円
計	150億円

東京2025世界陸上 財政計画（支出）について

項目	金額	主な事業
仮設等	30億円	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設設備 <大会運営のためのオーバーレイ> ・情報設備 <情報システム、通信インフラ、音響／映像機器、IT環境の整備>
輸送等	15億円	<ul style="list-style-type: none"> ・国内輸送 <アスリートをはじめとする大会関係者に対する国内輸送サービスの提供> ・警備 <観客や大会関係者などの安全・安心を確保するための警備の実施>
オペレーション	55億円	<ul style="list-style-type: none"> ・競技関連 <トラック&フィールド競技、マラソン・競歩競技の運営、競技用物品の調達、アスリートに対する賞金の負担、イベントプレゼンテーションの実施に必要な経費の負担> ・会場関連 <競技会場等における観客の案内・誘導、こどもの観戦> ・宿泊・飲食・渡航 <アスリートをはじめとする大会関係者に対する宿泊・飲食・渡航サービスの提供> ・ボランティア <ボランティアの選考・採用、研修の実施> ・医療 <アスリートをはじめとする大会関係者に対する医療サービスの提供、アンチドーピング活動> ・会場等の装飾 <会場などの装飾の計画・実施> ・式典 <開閉会式、メダルセレモニーの実施>
管理・広報等	45億円	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・管理費 <職員人件費、什器・物品等の調達、環境対策> ・メディア関連 <広報戦略の策定、ウェブサイトやSNS等による情報発信及びPR活動の実施、大会映像作成のために必要な経費の負担> ・大会ロゴの制作 <大会ロゴなどブランド資産の管理、メダルのデザイン制作> ・チケット関連 <チケット販売計画の策定、販売費> ・スポンサー関連 <スポンサーの募集、スポンサーの権利の管理>
予備費	5億円	
計	150億円	

計画額

（収入）

項目	金額
日本陸連	10億円
協賛金・寄付金	30億円
チケット	30億円
その他	80億円
計	150億円

- 日本陸連は、10億円を負担する。
- 協賛金・寄付金収入については、目標額30億円を設定し、具体的取組を開始する。
- チケット収入については、目標額30億円を設定し、フルスタジアムの実現に向けて取り組む。
- その他については、大会において東京の発展や都民の参画のための取組を行うことを前提に、今後大会経費の更なる精査を行いながら、東京都に支援を要望していくとともに、国による大会への全面的支援を、東京都を通じて要望していく。